



2023年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 協立電機株式会社
コード番号 6874 URL <https://www.kdwan.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西 信之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平井 伸太郎

TEL 054-288-8899

定時株主総会開催予定日 2023年9月27日 配当支払開始予定日 2023年9月28日

有価証券報告書提出予定日 2023年9月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期の連結業績(2022年7月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	33,616	18.7	2,273	50.5	2,371	47.9	1,530	43.9
2022年6月期	28,331	3.8	1,510	21.1	1,603	16.1	1,063	22.9

(注) 包括利益 2023年6月期 1,822百万円 (65.3%) 2022年6月期 1,102百万円 (14.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年6月期	380.23		10.0	8.6	6.8
2022年6月期	264.18		7.6	6.5	5.3

(参考) 持分法投資損益 2023年6月期 百万円 2022年6月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年6月期	29,764	17,096	54.4	4,023.22
2022年6月期	25,512	14,999	56.2	3,565.62

(参考) 自己資本 2023年6月期 16,190百万円 2022年6月期 14,348百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年6月期	624	780	226	6,591
2022年6月期	1,205	458	224	6,812

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年6月期		0.00		55.00	55.00	221	20.8	1.6
2023年6月期		0.00		70.00	70.00	281	18.4	1.8
2024年6月期(予想)		0.00		80.00	80.00		20.1	

3. 2024年6月期の連結業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	4.1	2,300	1.2	2,400	1.2	1,600	4.6	397.60

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期	4,369,200 株	2022年6月期	4,369,200 株
期末自己株式数	2023年6月期	345,056 株	2022年6月期	344,954 株
期中平均株式数	2023年6月期	4,024,195 株	2022年6月期	4,024,246 株

(参考)個別業績の概要

1. 2023年6月期の個別業績(2022年7月1日～2023年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期	20,205	20.7	1,607	47.4	1,813	43.5	1,270	42.0
2022年6月期	16,742	1.6	1,090	25.2	1,263	9.7	894	10.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期	315.81	
2022年6月期	222.38	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2023年6月期	21,915		11,862		54.1	2,947.72		
2022年6月期	18,896		10,721		56.7	2,664.15		

(参考) 自己資本 2023年6月期 11,862百万円 2022年6月期 10,721百万円

2. 2024年6月期の個別業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	22,500	11.4	1,900	4.8	1,300	2.3	323.05	

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響も徐々に緩和され経済活動正常化への動きが活発であったものの、原材料や資源価格の高騰等の影響も大きく、また世界的な金融引き締めにより景気後退が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明感が拭えないまま推移いたしました。

当社グループとしましては、経営基本方針としている「One Stop Shopping」施策を引き続き推し進め、受注範囲の拡大及び収益性の向上を目指し、新たなビジネスモデルの構築に尽力して参りました。人手不足が益々深刻化する環境下での省人・省力化へのロボットに対する需要拡大、さらにはロボットの作業範囲を広げるAIの進展等、当社グループには引き続き強い追い風が吹いております。当連結会計年度においては後半から続いている景況感の回復に伴い製造業における設備投資意欲は依然として旺盛であり、この3年間に抑えていた設備投資の再開に加えて、半導体不足の解消も段階的に見られ、さらに海外への渡航制限も緩和される中で、依然として需要超過の状況が続いております。

新規の設備投資・研究開発投資が一時的な波はあるにせよ、多くの産業では生産回復の基調が強くなり、引き続き当社の予想を上回る速度で拡大しており、設備・研究開発投資依存型のビジネスモデルの当社グループ業績も多少の時差はあるものの、順調に拡大傾向であると認識できるほどに回復して参りました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は336億16百万円（前期比18.7%の増）となり、損益面としましては営業利益が22億73百万円（同50.5%の増）、経常利益が23億71百万円（同47.9%の増）、親会社株主に帰属する当期純利益が15億30百万円（同43.9%の増）と増収・増益になりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

（インテリジェントFAシステム事業）

インテリジェントFAシステム事業では、引き続きIoTを活用した設備投資の増大により生産管理システム、出荷検査に代表される各種検査装置や電力・水力等の各種監視装置が好調だったこと、ロボット等の各種自動化システムの需要が拡大していること、「One Stop Shopping」施策が好調であること等により順調に推移しております。懸念されていた一部の原材料不足の影響も引き続き徐々にではあるものの解消に向かっております。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当連結会計年度における売上高は115億2百万円（前期比17.1%の増）、営業利益は12億9百万円（同28.2%の増）と増収・増益になりました。

（IT制御・科学測定事業）

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向があります。一方、当事業の中でも科学測定分野は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当連結会計年度においては、新製品開発へ向けた顧客の研究開発投資は依然として旺盛であり、加えて多くの製造現場で生産量の回復が堅調に進む中、生産設備への合理化投資も堅調に回復傾向にあります。

これらの結果、売上高は220億76百万円（前期比19.4%の増）、営業利益は13億43百万円（同63.4%の増）と増収・増益になりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産の合計額は、前連結会計年度末に比べ42億52百万円増加し、297億64百万円となりました。これは主として流動資産の受取手形、売掛金及び契約資産と電子記録債権を合わせた売上債権のほか、商品及び製品と仕掛品と原材料を合わせた棚卸資産と固定資産の建物及び構築物並びに投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

負債の合計額は、前連結会計年度末に比べ21億55百万円増加し、126億67百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金と電子記録債務を合わせた仕入債務と未払法人税等と流動負債のその他が増加したこと等によるものであります。

純資産の合計額は、前連結会計年度末に比べ20億97百万円増加し、170億96百万円となりました。これは主として利益剰余金とその他有価証券評価差額金と非支配株主持分が増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により得られた資金の合計額が投資活動及び財務活動により支出された資金を下回ったため、前連結会計年度末に比べ2億20百万円減少し、65億91百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、6億24百万円（前期は12億5百万円の収入）となりました。これは主として売上債権の増加額が25億80百万円と法人税等の支払額が5億63百万円あった一方、税金等調整前当期純利益が23億51百万円と仕入債務の増加額が13億52百万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、7億80百万円（前期は4億58百万円の支出）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が4億5百万円と投資有価証券の取得による支出が2億19百万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、2億26百万円（前期は2億24百万円の支出）となりました。これは主として配当金の支払額が2億19百万円あったこと等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年6月期	2020年6月期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
自己資本比率	50.5	52.8	56.1	56.2	54.4
時価ベースの自己資本比率	41.7	34.5	35.1	30.8	40.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	112.7	74.4	100.2	155.9	301.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	268.8	524.3	527.6	353.3	178.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

（注）1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は自己株式を除く期末発行済株式総数をベースに計算しております。

3 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業キャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な金融引き締めによる各国の経済情勢、新型コロナウイルス感染症を発端としたビジネスにおける新様式の定着度合等、様々な要因により世界経済への大きな影響があるものと考えております。更に、ウクライナ情勢や半導体の供給不足の解消度合い、資源・原材料価格の高騰や国内外における物価の上昇等、当社を取り巻く経済環境は不透明感が拭えない厳しい状況が続くものと予想されます。

斯様な状況下、中期的な視点では、省人・省力化投資の流れが更に加速していくものと考えております。将来に渡る労働力不足、特に生産現場での労働力不足は既に深刻になっております。また、将来への新たな感染症等の同種の課題に対しても対策を講じていく必要があるといった認識が定着しており、こういった課題に対し生産活動を継続していくことを目的とした省力・省人化投資への需要は、想像以上に新たな形・場所で益々増えていくものと考えております。

現在の資源価格の高騰についても、より一層の省エネ・省資源を目指した設備投資は更に加速していくものと思われ、これらに加えてCASE・EVに代表される輸送機業界における研究開発投資は益々勢いを増しております。

更にAIとロボットの相乗効果によるロボット作業範囲の拡大と高度化、IoTの普及拡大からその活用範囲の深耕等、新たなイノベーションが生まれる中、システムの高度化・効率化等が引き続き革命的に進行しております。これらの多くは、当社グループのビジネスエリアの中核部分で起きており、当社グループにとっては技術革新とその進行によって新規ビジネスが創造されるという非常に有利な追い風が吹いています。

このような環境下、当社グループは経営諸施策を着実に実行し、業績の向上と企業価値増大に努めるとともに、事業を通じて社会貢献にも取り組んで参ります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、売上高は前期比4.1%増の350億円を予想しており、営業利益は1.2%増の23億円、経常利益は1.2%増の24億円、親会社株主に帰属する当期純利益は4.6%増の16億円を予想しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

株主への利益配分に関しましては、長期的な視野に立ち安定的且つ継続的な配当とその増加を重視するとともに、適正な利益配分の継続を基本としております。また内部留保につきましても適正な水準での充実を図り、新製品の開発・新技術の研究の他、海外も含めた事業拡大へ向けた戦略的投資に対して積極的に投資し、企業価値の増大によって株主への還元を図る所存であります。

2023年6月期の配当に関しましては、株主の皆様へのより多くの還元を図るべく、当期末は普通配当1株当たり70円とすることを2023年9月27日に予定している第65回定時株主総会にご提案申し上げる予定であります。

また、次期の配当につきましては、上記の方針に基づき1株当たり80円に増配することを予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間及び期間での比較可能性を確保するため、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,812,788	6,600,069
受取手形、売掛金及び契約資産	6,698,260	8,890,378
電子記録債権	2,457,657	2,921,388
有価証券	-	100,000
商品及び製品	516,543	916,695
仕掛品	506,292	572,440
原材料	592,638	657,719
短期貸付金	33,987	28,525
その他	85,607	354,263
貸倒引当金	△39,568	△72,775
流動資産合計	17,664,206	20,968,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	737,542	1,363,354
車両運搬具(純額)	70,572	36,854
土地	4,041,222	4,223,520
建設仮勘定	319,914	-
その他(純額)	158,485	204,791
有形固定資産合計	5,327,738	5,828,519
無形固定資産	132,225	168,250
投資その他の資産		
投資有価証券	1,577,524	1,847,677
長期貸付金	165,147	295,214
繰延税金資産	269,107	272,482
その他	658,614	663,864
貸倒引当金	△282,555	△280,371
投資その他の資産合計	2,387,837	2,798,866
固定資産合計	7,847,801	8,795,637
資産合計	25,512,008	29,764,342
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,242,924	6,032,613
電子記録債務	1,511,723	2,115,953
短期借入金	-	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,100,000	600,000
未払法人税等	310,454	583,258
未払消費税等	152,518	191,926
賞与引当金	126,240	190,240
役員賞与引当金	47,350	58,450
その他	739,457	1,089,316
流動負債合計	9,230,669	11,161,758

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
固定負債		
長期借入金	780,000	980,000
退職給付に係る負債	435,677	433,239
繰延税金負債	22,013	48,933
その他	43,823	43,583
固定負債合計	1,281,513	1,505,756
負債合計	10,512,182	12,667,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,872,124	1,872,124
利益剰余金	11,246,213	12,865,596
自己株式	△424,862	△425,097
株主資本合計	14,134,915	15,754,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220,056	363,399
為替換算調整勘定	-	70,444
退職給付に係る調整累計額	△6,026	2,125
その他の包括利益累計額合計	214,029	435,969
非支配株主持分	650,880	906,793
純資産合計	14,999,825	17,096,827
負債純資産合計	25,512,008	29,764,342

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
売上高	28,331,527	33,616,270
売上原価	22,954,223	27,207,632
売上総利益	5,377,303	6,408,637
販売費及び一般管理費	3,866,549	4,135,376
営業利益	1,510,754	2,273,261
営業外収益		
受取利息	4,844	3,406
受取配当金	38,815	42,208
仕入割引	30,763	33,020
為替差益	23,024	7,193
雑収入	24,705	21,037
営業外収益合計	122,153	106,865
営業外費用		
支払利息	3,412	3,506
売上割引	4,251	3,541
貸倒引当金繰入額	20,386	-
雑損失	1,398	1,729
営業外費用合計	29,448	8,777
経常利益	1,603,459	2,371,349
特別利益		
固定資産売却益	108	2,770
投資有価証券売却益	80,427	893
保険解約返戻金	4,049	-
特別利益合計	84,585	3,663
特別損失		
固定資産除却損	12,576	2,268
有価証券償還損	8,911	-
投資有価証券評価損	-	21,113
特別損失合計	21,488	23,382
税金等調整前当期純利益	1,666,557	2,351,631
法人税、住民税及び事業税	534,741	812,716
法人税等調整額	25,031	△44,825
法人税等合計	559,773	767,890
当期純利益	1,106,783	1,583,740
非支配株主に帰属する当期純利益	43,653	53,615
親会社株主に帰属する当期純利益	1,063,130	1,530,125

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
当期純利益	1,106,783	1,583,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,641	160,380
為替換算調整勘定	-	70,444
退職給付に係る調整額	2,278	8,151
その他の包括利益合計	△4,362	238,977
包括利益	1,102,421	1,822,718
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,078,357	1,752,065
非支配株主に係る包括利益	24,064	70,652

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,441,440	1,872,124	10,392,729	△424,862	13,281,431	207,108	△8,305	198,802	631,651	14,111,885	
会計方針の変更による累積的影響額	-	-	11,686	-	11,686	-	-	-	-	11,686	
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,441,440	1,872,124	10,404,416	△424,862	13,293,118	207,108	△8,305	198,802	631,651	14,123,572	
当期変動額											
剰余金の配当	-	-	△221,333	-	△221,333	-	-	-	-	△221,333	
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	1,063,130	-	1,063,130	-	-	-	-	1,063,130	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	12,948	2,278	15,226	19,229	34,456	
当期変動額合計	-	-	841,796	-	841,796	12,948	2,278	15,226	19,229	876,253	
当期末残高	1,441,440	1,872,124	11,246,213	△424,862	14,134,915	220,056	△6,026	214,029	650,880	14,999,825	

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,441,440	1,872,124	11,246,213	△424,862	14,134,915	220,056	-	△6,026	214,029	650,880	14,999,825
当期変動額											
剰余金の配当	-	-	△221,333	-	△221,333	-	-	-	-	-	△221,333
親会社株主に帰属する当期純利益	-	-	1,530,125	-	1,530,125	-	-	-	-	-	1,530,125
連結範囲の変動	-	-	310,591	-	310,591	-	-	-	-	-	310,591
自己株式の取得	-	-	-	△234	△234	-	-	-	-	-	△234
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	143,343	70,444	8,151	221,939	255,913	477,852
当期変動額合計	-	-	1,619,383	△234	1,619,148	143,343	70,444	8,151	221,939	255,913	2,097,001
当期末残高	1,441,440	1,872,124	12,865,596	△425,097	15,754,063	363,399	70,444	2,125	435,969	906,793	17,096,827

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,666,557	2,351,631
減価償却費	181,022	198,013
為替差損益 (△は益)	△5,251	△1,187
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△44,862	31,023
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30,141	64,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,650	11,100
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,447	9,184
受取利息及び受取配当金	△43,660	△45,614
支払利息	3,412	3,506
有形固定資産売却損益 (△は益)	△108	△2,770
有形及び無形固定資産除却損	12,576	2,268
投資有価証券売却損益 (△は益)	△80,427	△893
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	21,113
売上債権の増減額 (△は増加)	△362,286	△2,580,238
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△337,934	△348,177
仕入債務の増減額 (△は減少)	244,711	1,352,364
その他	303,812	85,867
小計	1,527,518	1,151,191
利息及び配当金の受取額	43,269	40,429
利息の支払額	△3,412	△3,506
法人税等の支払額	△361,817	△563,902
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,205,557	624,212
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△645,248	△405,947
有形固定資産の売却による収入	98,588	34,305
無形固定資産の取得による支出	△50,999	△66,714
有価証券の取得による支出	△100,253	-
有価証券の償還による収入	50,000	-
出資金の払込による支出	△2,000	-
投資有価証券の取得による支出	△25,359	△219,566
投資有価証券の売却による収入	145,343	2,181
貸付けによる支出	△223,000	△193,429
貸付金の回収による収入	294,073	68,917
その他	△26	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△458,881	△780,253
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	300,000
長期借入れによる収入	-	800,000
長期借入金の返済による支出	-	△1,100,000
自己株式の取得による支出	-	△234
配当金の支払額	△220,157	△219,970
非支配株主への配当金の支払額	△4,835	△6,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224,992	△226,545
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,415	1,094
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	525,099	△381,492
現金及び現金同等物の期首残高	6,287,688	6,812,788
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	160,528
現金及び現金同等物の期末残高	6,812,788	6,591,824

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当連結会計年度よりKyoritsu Electric (Thailand) Co.,Ltd.及びKyoritsu Engineering (Thailand) Co.,Ltd.を当社グループにおける重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主としてITとFAの融合領域ともいべきインテリジェントFAシステムビジネスを事業の中核としており、製造現場、研究開発部門、品質管理部門等で必要とする機器を開発、さらにシステム化し、製造業を主とした顧客に対して高次元における最適ソリューションプロバイダーになることを目指しております。

当社グループは、提供する製品・サービスの特性に基づき、事業セグメントを集約した上で、「インテリジェントFAシステム事業」、「IT制御・科学測定事業」の2つを報告セグメントとしております。

即ち、主として製造業の研究開発や生産現場に必要な各種機器を開発し或いはネットワーク化しITシステムにより自動制御する技術の中核として開発された製品・システム類等に関連するビジネス分野を「インテリジェントFAシステム事業」としており、その関連製品である計測器、科学センサー、科学分析等を行う各種機器類に関連するビジネス分野を「IT制御・科学測定事業」としております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	インテリジェント FAシステム事業	IT制御・科学 測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,820,514	18,482,321	28,302,835	28,691	28,331,527
セグメント間の内部 売上高又は振替高	513,384	515,713	1,029,097	73,971	1,103,068
計	10,333,898	18,998,034	29,331,932	102,663	29,434,596
セグメント利益	943,719	822,191	1,765,911	89,697	1,855,609
セグメント資産	8,528,820	7,526,764	16,055,585	615,651	16,671,236
その他の項目					
減価償却費	109,932	48,973	158,905	6,512	165,417
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	280,968	59,719	340,688	—	340,688

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	インテリジェント FAシステム事業	IT制御・科学 測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,502,923	22,076,211	33,579,134	37,135	33,616,270
セグメント間の内部 売上高又は振替高	575,932	684,116	1,260,048	74,027	1,334,076
計	12,078,855	22,760,328	34,839,183	111,163	34,950,346
セグメント利益	1,209,855	1,343,347	2,553,203	95,026	2,648,229
セグメント資産	9,885,590	9,953,046	19,838,636	753,293	20,591,930
その他の項目					
減価償却費	123,954	49,411	173,365	8,720	182,086
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	566,396	212,160	778,556	—	778,556

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	29,331,932	34,839,183
「その他」の区分の売上高	102,663	111,163
セグメント間取引消去	△1,103,068	△1,334,076
連結財務諸表の売上高	28,331,527	33,616,270

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,765,911	2,553,203
「その他」の区分の利益	89,697	95,026
全社費用	△344,854	△374,968
連結財務諸表の営業利益	1,510,754	2,273,261

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16,055,585	19,838,636
「その他」の区分の資産	615,651	753,293
全社資産	8,840,771	9,172,411
連結財務諸表の資産合計	25,512,008	29,764,342

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余剰運用資金(現金及び有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	158,905	173,365	6,512	8,720	15,604	15,927	181,022	198,013
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	340,688	778,556	—	—	28,045	18,383	368,733	796,939

(注) 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に総務部門等管理部門に係る費用及び投資であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
1株当たり純資産額	3,565円62銭	4,023円22銭
1株当たり当期純利益	264円18銭	380円23銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当連結会計年度 (2023年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	14,999,825	17,096,827
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	650,880	906,793
(うち非支配株主持分)	(650,880)	(906,793)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	14,348,945	16,190,033
普通株式の発行済株式数(株)	4,369,200	4,369,200
普通株式の自己株式数(株)	344,954	345,056
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	4,024,246	4,024,144

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)	当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,063,130	1,530,125
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,063,130	1,530,125
期中平均株式数(株)	4,024,246	4,024,195

(重要な後発事象)

該当事項はありません。